

## 第4回 あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン検討委員会 会議録

### 1 日時

令和3年3月11日（木）午後2時半から午後3時まで

### 2 場所

事務局：愛知県庁本庁舎6階正庁（池谷委員：WEB会議形式）

### 3 出席者

あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン検討委員 3名

事務局 9名

愛知県 経済産業局産業科学技術課 2名

### 4 傍聴者等

なし

### 5 開会

### 6 議事

#### （1）プランの策定について

事務局から、資料1・2・3・4に基づき説明。

<質疑応答>

（池谷委員）パブリックコメントの意見について、～20代の方はどのような意見を提出されたのか。

（事務局）「6」の充電インフラや水素ステーションの整備促進、愛知県としての普及に向けた考え方を問う意見である。

（池谷委員）承知した。プラン最終案として、大変良くなっている。

（森川座長）藤村委員はどうか。

（藤村委員）本最終案はパブコメの結果も踏まえ、これまでの議論に基づき修正された内容となっているため、特に異論はない。一つ付け加えるとす

ると、車の電動化が進んでも、使用する燃料あるいはエネルギーが脱化石化しないと車としてのCO<sub>2</sub>削減は達成できない。つまり、最後はエネルギーを含めたLCAの視点からトータルでカウントしたCO<sub>2</sub>削減のために、エネルギーセクターを含めた議論をしていただきたい。本プランは、これで良いが、今後どうつなげていくかを考えてほしい。

菅首相は2050年に「トータルでCO<sub>2</sub>ゼロ」と言っているが、トータルにもいろいろ意味があるところで、排出ゼロとは言っていない。再生可能エネルギーを50~60%にするとも言っているが、全く足りておらず、産業界からも「2050年にこのレベルは生易しい」と言われている状況である。今秋にCOP26が開催されるが、その場で日本がこのような方針を述べると、おそらく海外からの批判が大きいと考えられる。そのような状況を踏まえ、日本もトータルでのCO<sub>2</sub>が少なく、かつ、ユーザーに負担をかけない方法は何か、ということをもとめてもらえると良い。

(森川座長) 今、ご指摘いただいた点は、本検討委員会のミッションというより、県の地球温暖化対策、そして、これからの政府の最大のミッションと考えられる。このような視点は、今回の検討を通して藤村委員からコメントをいただいております、メインのトピックではないものの、本プランの中にもかなり織り込まれている。エネルギーミックスの議論は別途、県として関連部局と連携して進めていただき、結果として自動車からの実質ゼロを目指せば良いと考える。

最終案について、池谷委員からは更に意見はないか。

(池谷委員) 特にない。

(森川座長) 本プランの検討においては、池谷委員と藤村委員に非常に熱心に取り組んでいただき、コラムの執筆や、様々な意見を丁寧いただいた。私も、両委員には及ばないが、丁寧に読ませていただき、多少の意見をさせていただいた。本プランは3人の委員のコミットメントが非常に多いものであり、事務局の努力もあって、結果として、読み物としても読み応えがあるものとなった。両委員からも、最終的にはポジティブなご意見をいただき、私も、非常に良くできていると思っている。最後には、藤村委員の意見にあったように、「エネルギーをどうするか」が課題になるが、こちらは今後検討いただくとして、本プランはこれで良いと考えている。

本案を最終案としてまとめて、よろしいか。

(池谷委員) 問題ない。

(藤村委員) 問題ない。

(森川座長) それでは最終案については修正が必要という点はなかったため、本案を正式に本検討委員会の最終案とする。委員の皆様には、昨年9月から本日まで積極的にご意見をいただき、ご協力に対して厚くお礼を申し上げます。

## (2) その他

<質疑応答>

(事務局) 本プランは、3/26 から WEB 配信を予定しているフォーラムにおいても、広く発信する。本フォーラムについては委員の皆様にもインタビューにご協力いただき、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(森川座長) 撮影したインタビューは、いつ、どこで配信されるか。

(事務局) フォーラムは3/26 から3/31 まで、愛知県のHP で配信予定であり、配信開始時には、県HP のトップ「新着情報」でも発信する予定である。

(森川座長) 承知した。

以上